

令和6年1月

# 第1回和光市教育委員会定例会会議録

和光市教育委員会

## 令和6年第1回和光市教育委員会定例会日程

令和6年1月25日（木曜日）午後1時30分開会

日程第1 会議録署名委員の指名について

日程第2 教育長の報告

日程第3 付議案件

（1）議案第1号 和光市教育委員会表彰規程に基づく表彰について

日程第4 協議・報告事項

（1）学校給食費の改定案について

（2）令和5年度卒業証書授与式（教育委員会告辞）について

日程第5 その他（教育委員諸報告・事務局報告など）

（1）令和6年度定例教育委員会の日程案について

（2）和光市教育委員と教職員等との懇談会（案）について

出席委員（5名）

教育長	石川毅
教育長職務代理者	山田実
委員	村中秀人
委員	牧江利子
委員	天内綾

---

欠席委員（なし）

---

議事参与者

教育委員会事務局教育部長	寄口昌宏
〃 次長兼教育総務課長	福田裕子
〃 次長兼学校教育課長	辻英一
〃 次長兼生涯学習課長	亀井義和
〃 スポーツ青少年課長	森谷聡子

---

傍聴人（なし）

開会 午後 1時30分

○石川教育長 皆さん、こんにちは。

初めに、1月1日に発生した能登半島地震でお亡くなりになられた方々にお悔やみを申し上げますとともに、被災されている方々にお見舞いを申し上げます。

また、学校再開の遅れなど様々な事情での中学生の集団避難について、生徒、保護者、学校、そして教育委員会としても苦渋の決断だったのかなというふうに思いますけれども、子供たちが避難先で元気に過ごしてくれることと、一日でも早く平穏な生活が戻ることを願うばかりです。

市内の小・中学校につきましては、防災マニュアルが設置されているわけですが、その見直しについては毎年行っています。ただ、今回の震災から様々な教訓が得られていますので、1月の校長会議の中で、その教訓について防災マニュアルに反映するように校長先生に指示をしたところです。

それでは、次第に従って進行してまいりますので、よろしくお願いいたします。

---

#### ◎会議録署名委員の指名について

○石川教育長 日程第1、会議録署名委員の指名について。

署名委員を牧委員にお願いいたします。

○牧委員 よろしく申し上げます。

---

#### ◎教育長の報告

○石川教育長 日程第2、教育長報告をします。

資料1を御覧ください。

5日金曜日、学校給食協会永年勤続表彰を行いました。その後、和光消防署長が来庁され、挨拶を交わしました。夕方からは、朝霞青年会議所賀詞交歓会に出席をいたしました。

7日日曜日、和光市消防出初式に出席をいたしました。午後は、委員の皆様とともに、令和5年度和光市成人式、二十歳を祝う会に出席をいたしました。

10日水曜日から、3学期初めのあいさつ運動が始まり、第三中学校でのあいさつ運動に参加をいたしました。その後、定例校長会議を開催しております。

11日木曜日、本町小学校のあいさつ運動に参加をいたしました。

12日金曜日、下新倉小学校のあいさつ運動に参加をいたしました。夕方からは、和光市商工会令和6年新春の集いに出席をいたしました。

13日土曜日、青少年育成市民会議新春たこあげ大会に出席をいたしました。

15日月曜日、第五小学校のあいさつ運動に参加をしました。午後は、南部教育長会議・協議会・研修会に出席をしました。

16日火曜日、広沢小学校のあいさつ運動に参加をしました。その後、定例教頭会議を開催し、その後、「美しいまちづくり心から感謝」表彰式に出席をしました。午後は、全国中学生人権作文コンテスト埼玉県大会入賞者の表敬訪問を受けました。

17日水曜日、指導に係る学校訪問ということで第三小学校を訪問いたしました。

18日木曜日も、指導に係る学校訪問で第四小学校を訪問いたしました。午後は、令和5年度朝霞地区教育委員会連合会管理職合同研修会に、委員の皆様とともに出席をいたしました。

19日金曜日、埼玉県都市教育長協議会定例協議会に出席をいたしました。

20日土曜日、設立40年記念オペラ彩第40回定期公演「魔笛」を鑑賞いたしました。

21日日曜日、台風接近による大雨と河川の氾濫を踏まえた避難誘導や情報収集、それから避難所開設のシミュレーションなどの職員災害対応訓練を行いました。

22日月曜日、新倉小学校の2人の初任者の授業を参観し、その後協議を行いました。午後は、公民館運営審議会に出席をしました。

23日火曜日、政策会議、それからその後に、和光市教育委員会表彰審査会に出席をし、午後は、臨時的任用教職員研修会で挨拶を行いました。

24日水曜日、和光市婦人会新年会に出席をいたしました。

25日木曜日、本日ですけれども、そこには第五小学校の初任者の授業参観と書いてありますが、その該当クラスがインフルエンザの蔓延による学級閉鎖がありまして、初任者訪問は後日に延期することとしました。そして現在、定例教育委員会を開催しております。

26日金曜日、市内サッカー大会視察、その後、第三中学校特別支援学級工事を視察する予定です。午後は、和光市学校給食協会理事会に出席をします。

27日土曜日、和光市スポーツ協会賀詞交歓会に出席予定です。

28日日曜日、和光市スポーツ少年団野球連盟新年会に出席を予定しております。

29日月曜日、白子小学校と本町小学校の初任者の授業を参観し、その後、協議会に参加する予定です。

30日火曜日、大和中学校の初任者の授業を参観し、その後、協議会に参加をする予定です。

31日水曜日、インフォメーションシェアリングに出席をし、午後は、平和な未来を考える会に出席をする予定です。

今日のお手元の資料の後ろから2番目だと思うんですが、大和中学校で開催される平和な未来を考える会のパンフレットがあるかと思います。当日の参加も自由になっておりますので、ぜひお時間の都合がつけば、御来場いただければと思います。

教育長報告は以上になります。

---

### ◎付議案件

○石川教育長 続きまして、日程第3、付議案件。

本日の付議案件は1件です。

資料2を御覧ください。

議案第1号 和光市教育委員会表彰規程に基づく表彰について。

それでは、教育総務課から説明をお願いします。

○福田次長 それでは、御説明申し上げます。

こちらは和光市教育委員会表彰規程に基づいて、学校教育分野や社会教育分野で功績のあった方を表彰するものです。具体的な表彰規程の基準としましては、表彰候補者一覧の後につづられている表彰規程と表彰選考基準内規によって、各団体から担当課に御推薦いただいた方となります。

では、ページを戻っていただいて、表彰被表彰者候補者一覧を御覧ください。

今年度は個人の方63名を推薦いたします。団体の推薦はございません。

それでは、推薦団体の担当課から候補者一覧の順に、候補者について推薦内容の紹介を、1から54番は学校教育課から、次に、55から63番までを生涯学習課から説明をお願いいたします。

○辻次長 学校教育課からは、各学校から上がってきた推薦となります。ちょっと人数が多いんですが、表の6番、片山義久様は、PTA会長の御功績、ほかの方々は、学校運営協議会委員としての御功績により推薦が上がってきております。

昨年度末で白子小と新倉小学校が、また今年度末でそのほかの学校が3年委嘱を2回、計6年間が終わります。コミュニティスクールが全校スタートしてから、いわゆる2サイクルが終わることから、発足当初から委員の方々は6年お務めいただいたこととなります。地域とともにある学校づくりは、道半ばではございますが、発足当初の何も分からない状況から学校を支えてくださった方々の御功績は大変大きいものと各学校長が感じているところから、今回はちょっと人数が多くなるんですが、推薦をさせていただきました。

学校教育課からは以上です。

○**亀井次長** 続きまして、生涯学習課では、社会文化の振興に功績が顕著にあられた9名の方が候補者として推薦されております。

初めに、55番、和光市文化団体連合会からの御推薦、55番、56番、2名でございます。

お一人目は、高野靖子様です。高野さんは、文化団体連合会の副会長、会計を歴任し、現在は監事として御尽力いただいております。

お二人目は、56番、鈴木美和子様です。鈴木様は、踊りの指導者として長年にわたり市の行事などへの参加へ協力をしていただいております。

続きまして、57番、和光市婦人会からの御推薦で、藤門涼子様です。藤門様は、向山婦人会支部長として婦人会活動に御尽力されるとともに、長年にわたり踊りの指導者として市の行事などへの参加へ御尽力をいただいております。

続きまして、58番、59番になります。市指定無形民俗文化財である下新倉ささら獅子舞保存会からの御推薦です。

1人目は、田中千春様です。田中千春様は、長年にわたり、ささら獅子舞の保存に御尽力をいただいております、特に、舞では常に技術研さんに励み、その保存のための指導者として後継者育成に力を注いでいただいております。

お二人目の田中秀幸様です。田中秀幸様も同様に、舞の技術研さんと保存のための指導者として後継者育成に御尽力をいただいております。

続きまして、60番、61番、ボーイスカウト和光第一団から御推薦2名でございます。

お一人目は、榎知美様です。榎様は、ビーバースカウト隊副長として、隊を運営する指導者として、また地域の子供たちのための活動に御尽力をいただいております。

お二人目は、井坂優子様です。井坂様は、カブスカウト隊副長として隊を運営する事業者として、また地域の子供たちのため活動に御尽力いただいております。

続きまして、和光市公民館運営審議会の御推薦で、田中章子様です。田中様は、公民館運営審議会議長、副議長として、長年にわたり公民館の運営に御尽力をいただくとともに、自身の公民館活動を通して地域、学校協働活動にも御協力をいただいております。

続きまして、63番で最後になります。和光市坂下公民館協力委員会から御推薦で、加藤昇様です。加藤様は、坂下公民館協力委員として、長年にわたり坂下公民館祭りをはじめ、公民館事業に協力をいただいております。

生涯学習課からは、以上9名となります。よろしく願いいたします。

○石川教育長 ありがとうございます。

それでは、今見ていただいた一覧の次のページ以降に、資料2枚ですかね、表彰の基準等載っておりますので、こちらとも照らし合わせながら、何か御質問や御意見がありましたら、よろしく願いいたします。

○山田委員 今回はスポーツ協会からは特に対象者はいないということですか。

○石川教育長 スポーツ青少年課、どうですか。

○森谷課長 スポーツ協会からは、3号に該当する方が今回はいらっしゃいませんでした。

○石川教育長 ほかはいかがでしょうか。

人数的には例年にない多い人数になっているかと思えます。それについては、先ほど学校教育課長から説明があったように、学校運営協議会委員の皆様が2期やって6年でちょうど、市内一斉に切替えの時期を迎えるために、2期ごとにこの大人数という形に今後もなっていくかなと思われま。

よろしいですか。

(発言する者なし)

○石川教育長 それでは、質疑を終了させていただきます。

採決をします。

議案第1号 和光市教育委員会表彰規程に基づく表彰について、原案のとおり決することに御異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○石川教育長 異議なしの声がありましたので、異議なしと認め、議案第1号 和光市教育委員会表彰規程に基づく表彰については、原案のとおり承認されました。

---

◎協議・報告事項



○石川教育長 続いて、日程第4、協議・報告。

本日の協議・報告事項は2件になります。

まず、(1)学校給食費の改定案について。

では、学校教育課より説明をお願いします。

○辻次長 それでは、学校給食費の改定案について、資料3を御覧ください。

前回の教育委員会で概要と途中経過をお知らせしたところですが、昨日、第3回の検討委員会が終わり、検討委員会としての意見がまとまりましたので、本日はその報告をさせていただきます。

検討委員会では、保護者や栄養士の皆様など、それぞれのお立場から様々な御意見をいただきました。その中のポイントとして、1点目、昨今の物価上昇に伴う給食費の値上げについては、おおむね賛成であるということ。2点目、特に中学校は値上げ幅が大きく、保護者の負担が大きいことから、段階的な値上げや補助金等の要望をしたいということ。3点目として、回数を増やすこと、こちらは保護者の皆様からはありがたいというお声がある一方で、調理等に係る給食運営への負担も大きくなることから、今後学校と市教育委員会にさらなる改善をお願いしたいということなどの御意見をいただいたところです。

それらを踏まえて、そちらの資料にお示ししてあるように、給食費は月額、小学校4,800円、中学校5,900円、1食単価、小学校285円、中学校350円、年間の給食回数を185回で検討委員会としての意見がまとまったところです。

今後ですが、2月8日に市議会の全員協議会にて議員説明を行い、次回の教育委員会で給食費の決定をしたいと思います。その後、3月の校長会で、校長先生方にお知らせした後、3月上旬にはさくら連絡網で保護者の皆様にお知らせさせていただき、4月1日からの施行を予定しています。

以上です。

○石川教育長 ただいま説明がありましたけれども、何か御質問や御意見ございますか。

○山田委員 特別に子供たちがお弁当を持っていくことがありますよね、なかよしランチというのですかね。あれは、年間の給食回数を調節するために行っているんでしょうか。

○辻次長 半分はその意味合いがあります。もう半分はそういうお弁当給食での交流という意味合いもあるんですけれども、その調整の中で行われていた行事であることは事実

です。

○村中委員 各平均、R元年度とかR5年度と書いてありますが、この平均というのは、その総合計の経費での合計ですか。それとも副食が48、例えばR元年度に副食が48.56、これは円ですか。

○辻次長 円です。

○村中委員 円ですね。そうすると、平均のパーセンテージが出ていますね、後ろに。パーセンテージというのは、この上昇率、黄色いところの副食、おかず、くだもの、102.88云々と書いてあって、その平均が104.28なんですか。

○辻次長 おっしゃるとおりです。

○村中委員 例えば、R5年度の合計の金額と、それから、その104.28%なんですね、その比較が。170、黄色いところの副食3種類の値段。小学校R5年度の178.27と183.46の比が平均104.28%。何の問題もありません。

○石川教育長 ほかにいかがですか。

○山田委員 表の下の米印6番の補助金というのは、これから考えて適用していくのですか。

○辻次長 今回の補助金が、今年度の補助金を載せてあります。

○山田委員 今年度ですね。

○辻次長 はい。

○山田委員 また、これ改正されるものですか。

○辻次長 こちらとしては、先ほどありました要望をしていきたいと考えております。

○天内委員 給食の中で、牛乳を残す児童が一定数いるという話を聞きますが、まだ牛乳に関しては、ほぼ毎食つけていくという運用は変わらないのでしょうか。

○辻次長 はい、今後も。たまにちょっと変わった牛乳もありますけれども、今のところは牛乳の予定です。

○天内委員 余った牛乳はどういう扱いになりますか。

○辻次長 廃棄になります。

○天内委員 分かりました。ありがとうございます。

○石川教育長 お願いします。

○村中委員 今の話なんですけれども、牛乳というか乳糖不耐症の子供が結構いるんです。牛乳が飲めない。そういう子にも一律に配られるわけじゃないんですよね。保護者から

通知などの書類があって、この子には牛乳は出さないということが管理されているようなことであって、そういう子たちが残しているというわけではないんですよね。

○辻次長 もともと牛乳を除去した形でという保護者の申出については、個別具体的に対応しております。それ以外で、ちょっと苦手だという方は、残すということですね。

○石川教育長 牛乳以外で牛乳が持つ栄養素をほかの副食等に置き換えるというのは、かなりの分量を子供たちに提供しなければならなくなってしまうということから、牛乳が栄養バランス感が最もいいということでの判断で牛乳を提供しているということです。

ほかにいかがでしょうか。

○牧委員 いいですか。

○石川教育長 お願いします。

○牧委員 給食費が安いとか高いかというのは人それぞれなんですけれども、私の記憶で、たしかカレーとかだと、市販のルウを使っていないんですよね。そういうときの使っている調味料が、油がたしか米油とか、なるべくアレルギーにいかないようにというところでの材料費の高騰というのものもあるんでしょうか。それがここに入ってきている、調味料関係とか。

○辻次長 おっしゃるとおり、今年度の動きを見ると、とにかく油関係ですね、非常に高騰しているという話は聞いておまして、そこが非常に影響しています。米印のところでも細かくいろいろ具体的なところが載っていますが、あくまでサンプル献立を作り、それに必要な材料として、算出している内容になりますので、献立によって使う材料も違ってきますから、全体的にはそういうものも加味した中で、事務局から最終的に提案した内容になります。

○石川教育長 ほかにいかがでしょうか。

お願いします。

○山田委員 中学校のほうで回数を増やしてほしいみたいな話を、次長が今されていましたが、その辺はどういうふうに考えていますか。

○辻次長 小学校も中学校も、もともと180回のところを、今後は185回、プラス5回ということで、全体の暦のほうも見た中と、それから他市の状況とかも含めまして、今回はこの回数を基本として今後はやっていきたいということで、それが検討委員会では、それで意見がまとまったということです。

○山田委員 そうすると、やはり調理員の方の仕事が増えてくるということもあるんです

かね。

○石川教育長 はい。

○辻次長 そういう御意見もあります。

○石川教育長 185回という回数は、学校で給食を提供できる最大数になります。カレンダーによっては、当然その年は185回提供できる年もあるかと思うんですけども、カレンダーによってはそこまで提供し切れないというケースも当然出てまいります。ただ、一番多い数で月額幾らと決めておかないと、後々給食費が足りなくなってしまうので、なので、回数がもし185回に至らなかった場合には、その少なかった回数分を返金していくという形は、これまでそういった形を取ってきたんですが、この185回というのはそういう意味合いでの185回になります。

○山田委員 全体の返金になると手数料とかそういうのはどうなんですか。その辺はかかってくる。

○辻次長 実際に終わってから返金というよりは、ある程度先、見込みがありますので、減額して、後日徴収するのが実際のところになるかと思います。

○山田委員 例えば小麦のアレルギーがある子は、食材を御飯にするというのは難しいので、そこは家庭の協力で、おにぎりを持ってくるとか、そういう対応になってくるんですかね。

○辻次長 はい。幾つか決まりというかそういうものに基づいて、除去できるものとできないものがありますので、そのあたりは事前に個別で各御家庭と養護教諭と栄養士、管理職が、大体4月にいつも集まって、打ち合わせをします。毎月のやり取りも、特別にそのメニューを通して、この日はこれが食べられないとか、この日は全て弁当を持っていきますとか、そういうやり取りは細かくさせていただいて、最終的にそれを教室のところまで、担任の先生が見えるカレンダーにまで反映させて、事故が起きないようにというところで対応しているところです。

○山田委員 分かりました。

○石川教育長 通常学校から配られる献立表よりも、かなり細かい内容物が分かる献立表を該当の御家庭にはお配りをして、それを見て、月単位で、この日はこれとこれは食べられるけれども、これは食べられません、代わりに自宅からこれを持っていかせませうというやり取りをして対応しているということですね。

○山田委員 食品にはアレルギー物質の表示がされていますよね。幾つか、卵とか牛乳と

か、そういう表示の仕方をされているんですかね。

○石川教育長 そういう表示もありますけれども、大体御家庭では、この献立内容で、こういう食材を使っているのであれば、これは無理と判断ができるような形での掲示物になっております。

小麦に関しては、アレルギーのお子さんは少ないので。パンについても、米粉のパンを使ったりとかという形の献立は増えてきていますね。

ほかにいかがですか。よろしいですか。

(発言する者なし)

○石川教育長 そうしましたら、これについては次回の定例教育委員会の中で御審議いただくということでよろしいですね。

○山田委員 外国籍のお子さんが増えてきていることで、例えば宗教上のものとか、その辺のあたりは気を使う状況ですよ。

○石川教育長 そういったケースも、アレルギーのあるお子さんと同じように申し出ていただいて、それについては提供しないで、自宅から代替りのものを持ってきていただくというような対応をすることにしています。

では、これについてはよろしいですか。

(発言する者なし)

○石川教育長 それでは、次に、(2) 令和5年度卒業証書授与式(教育委員会告辞)について、引き続き学校教育課からの説明をお願いします。

○辻次長 令和5年度卒業証書授与式(教育委員会告辞)について、資料4を御覧ください。

前回、こちらからお示ししました告辞のテーマの中から委員の皆様からも幾つか御意見をいただきまして、県立川口工業高校の掃除部について主に反応がありました。そのことも踏まえて、今回、小学校と中学校の告辞案をお示ししています。

少し読んでいただきますか。

○石川教育長 ちょっと目を通していただいてよろしいですか、時間を取りますので。

(資料黙読)

○石川教育長 よろしいですか。

では、御質問や御意見をいただく前に、今回御提示した告辞について、2点ちょっとお話をさせていただきたいんですが、まず1点が、この告辞については、子供たちや御家

庭に電子で直接届くような形を取りたいと思っています。なので、子供たちが当日紙でもらうということではなくて、各自が持っているタブレットで見れるようなこと、なので、データは学校に送って、学校から子供たちのタブレットで見れるような形にして、あわせて、卒業式の前に担任の先生と一緒に読んで、担任の先生から少しコメントをもらおうというようなことを前提として考えています。まずこれが1点です。保護者側には、多分さくら連絡網で流すことになるかと思います。

2点目として、従来、教育委員会の告辞は、子供たちだけではなく保護者の方々や学校への感謝の言葉も込めていたんですけれども、今回は子供たちに直接語りかける言葉にしようということで、このような形になっています。

これまでは、卒業生の皆さん、御卒業おめでとうございますの次に、枕言葉的に堅苦しい言葉が入っていたんですけれども、そういったものを全部払って、内容だけのものになっているところになります。その辺が前提としてあるということをお理解いただければと思います。

それでは、御質問なり御意見ありましたら、お願いいたします。

○村中委員 とてもいい文章で、「てにをは」も何の問題もなく読みやすいんですが、1ページ目の真ん中よりちょっと手前、岩手県出身のその前のところで、「等身大」とくるんですが、「等身大」というとあまりよく意味が分からないんです。例えば、テレビに出ているアイドルが「等身大」でどうのこうのとなるのが、それもよく分かってないんですけども、何か自分の身の丈に合ったとか、あるいは無理をせずとか、何か自分のペースでとか、そういう言葉のほうが。「等身大」というとどうも、全然意味が。最近の言葉じゃないかと思うんですけれども、ここ10年か15年とか、どうなんでしょうか。いかがでしょうか。

○石川教育長 この辺はどうですか。学校教育課のほうで。

○辻次長 まず、村中委員のおっしゃる意味で、こちらとしては作成をしましたが、一方でどうかなというところもありますので、言葉の内容をちょっと検討してみたいと思います。

○石川教育長 ほかにありますか。

○山田委員 今の続きですけれども、自分らしくということですよ。人と比べて自分のよさを出してもらおうという。

○石川教育長 そのあたりもう一度、文言を選んでいただければと思います。

○辻次長 はい。

○石川教育長 ほかにはいかがでしょうか。

○牧委員 すみません、大谷翔平、岩手県の次の段落の「少年野球を行っていた大谷選手は」というのは、意味合いは分かるんですけども、何かそういう表現の仕方をするかなと思ったんですけども。

○辻次長 ちょっと考えます。おっしゃるとおりです。少年野球を行っているというのは、ちょっと違うなという。

○牧委員 意味合いはすごく分かるんですけども。

○石川教育長 ほかにはいかがですか。

ここまでの話ですと、小学校の告辞に関して、方向性としてはよろしいということだと思いますかね。言葉の選びであったり表現の仕方であったり、この辺をもうちょっと手を加えていただきたいということで、これについて、もし、この後じっくり読んでいただいて、お気づきの点があれば、こちらのほうへお寄せいただければ、それもまた反映した形で次回の教育委員会でお示しします。

中学生のほうはどうでしょうか。掃除部の話ですね。

○山田委員 メールにも書いてあると思うんですが、この掃除をしてもらうことによって、みんなに感謝されるとか、人のためにやることでもあるじゃないですか。その喜びとどうか、自分がうれしいことより人が喜んでもらえることの喜びのほうが強くなる喜びを感じるというような。

○村中委員 でも、それは行間に入っているんじゃないですか。行間にあるんですよ。

○山田委員 行間。

○村中委員 そこまで表現されていないけれども、それはきっとあるんですよ。だから、これを読んだ掃除部じゃない子供たちは、いつもきれいになっているのは、あの人たちのおかげなんだというようなことがちらっとでも浮かべば、それで十分だと僕は思います。

○山田委員 それは、先生は浮かぶかもしれないですが。

○村中委員 浮かばないやつは、もうしょうがないんです。

○山田委員 全体的にはいいと思うんですね。

○石川教育長 今の山田委員の話について、学校教育課、どうですか。

○辻次長 ちょっともう一度全体を見直してみて、そのあたりの確認をちょっとして、次

の提案のときにお示しします。

○石川教育長 全体の構成としては分かりやすく、この切り抜き、響くかなという内容になっていますよね。

○山田委員 教育長が言われた親とか先生に対しての一言が抜けている部分、やっぱり子供たちに伝えたいことがしっかり出ているなど。本来はそれでいいかなと思います。

○石川教育長 ありがとうございます。

電子で送りたいという学校教育課の思いは、これまで紙ですと、その日限りのものになってしまうものなので、電子で送ることによって、子供は移動する、しないにかかわらず残せるものなので、もしどこかで振り返る機会があつたらいいなという思いも込めて、電子がいいねというような考え方があるという話も聞いていますので、そういうところも汲み取っていただければなと思います。

○山田委員 これ送るときには、何かかがみみたいなもの、教育長さんの名前をつけるんですか。

○辻次長 きれいに装飾をした形のデータでいうとPDFか何かになるかなと思います。

○牧委員 タブレットに送った後、タブレットは返却ですよ。

○石川教育長 自宅のほうに直接送りますので、さくら連絡網で。

○牧委員 さくらで親のほうにということですね。子供はタブレットで見ても、子供のほうには残らないけれども、親のさくらメールに残るということですね。

○辻次長 そちらにもデータを送る形にはしようかなと思っています。

○牧委員 分かりました。

○山田委員 これは事前に子供たちと担任の先生とのやり取りがあるということですよ。それをタブレットを使って。

○石川教育長 そのタブレットを使うのは、事前のやり取りの内容ということですね。

実は、学校教育課からこの告辞に関して、もう一つ提案がありまして。

○辻次長 今、いただいた御意見を確認して、再度2月の定例教育委員会のほうで準備をします。

もう一個、ちょっと提案なんですけれども、今回こちらのほう、もちろん事前に配付することに、当日は掲示のところに並ぶところなんですけど、もしよろしければ、教育委員の皆様から何か寄せ書きのようなメッセージをつくったらどうかと、お示したらどうかというふうに思いまして、もしよければ御提案です。



もちろん、ひな形は、こちらで準備はしたいと思うんですが、いつもこの教育委員会のこの場で、子供たちに対する温かい思いをいつもいただいておりますので、締めを迎える卒業生の皆様にメッセージをいただけたら、子供たちも喜ぶかなというところで、もしよければ御検討いただけたらと思いますが、いかがでしょうか。

○石川教育長 卒業生に向けてのメッセージということももちろん一つですし、もう一つは、なぜこの告辞を教育委員会が皆さんに送ったのかというようなこともメッセージにするのもいいのかなと思うんですね。やっぱり、今年から初めて教育委員の皆さんでこの内容を決めるということをはじめたわけですので、中学生に何でこの話を送りたいと考えたのかということも、教育委員の皆様からメッセージを送っていただくと、子供たちの心に響くのかなと思うんですね。

○山田委員 そうすると、この内容に対しての……

○石川教育長 でもいいですし、純粹に卒業生に対してでもいいかなと。

○山田委員 どちらでも構わない。

○石川教育長 どちらでもいいかなと。

○山田委員 どっちがいいかな。同じになっちゃう。

○石川教育長 いろいろな話題性のあるテーマがある中で、あえてこれを選ばれたというのがあると思うんですね。これまでの告辞からすると、今年の中学校で選んだ告辞は多分、ちょっと異質かなという感じはしているんで、もう少し世間的に有名な話題性のある内容をこれまで取り上げてきた中で、あえてこれを入れたというのは、これまでと違う傾向かなと私は感じているんですね。そこに込められている教育委員の皆さんのメッセージみたいなものもあってもいいのかなと。もちろん、直接卒業生へのはなむけの言葉でもいいかなと思うんですが、そういったものが紙ベースですとなかなか難しいものがあるかなと思うんですが、電子であれば、提起していただければ、あとは学校教育課のほうでレイアウトするでしょうから、そういった形で送ってあげるのもいいのかなとは思いますが、

○山田委員 どのぐらい。

○石川教育長 分量ですか。

○山田委員 例えば、4名で1枚になるとか。

○辻次長 そうですね、皆さんで1つの、寄せ書きですとよく色紙、真ん中に相手があって、その四方とか。ざっくりとした頭の中ですけれども、そこにそれぞれの思いをした

ためていただければ、こちらできれいに整えられればなど。

○山田委員 6、4。うまく修正してもらえれば。

○石川教育長 あまり字数にはとらわれずに書いていただくのがいいかなと思うんですね。ただ、それほど長い文章というよりは、やはり簡潔な文章で子供たちに伝わりやすいものというところがいいのかなと私は思いますけれども。いかがでしょうか。あくまで、これは提案です。

では、皆さんうなずいていただいているようですので、その方向での準備を学校教育課のほうでよろしく願いいたします。

○辻次長 こちらのほうで、連絡させていただきたいと思います。

○石川教育長 では、以上で、日程第4、協議・報告を終了いたします。

---

#### ◎その他（教育委員諸報告・事務局報告など）

○石川教育長 続いて、日程第5、その他に移ります。

教育委員の皆様から諸報告があれば、この場でお願いいたします。何かございますか。お願いいたします。

○村中委員 何度も言うようなんですが、毎回言っていますが、コロナがすごいはやっています。会議の時など座席の配置などはまだ考えてもらって、まだまだ気を緩めちゃいけないなと思いました。

○石川教育長 気の緩みがないようにしていかなければならないというふうに感じます。ありがとうございました。

ほかにいかがでしょうか。

（発言する者なし）

○石川教育長 それでは、次に、事務局より諸報告が2点あります。

まず、1つ目が令和6年度定例教育委員会の日程案について。

教育総務課からお願いいたします。

○福田次長 それでは、資料5を御覧ください。

令和6年度定例教育委員会の日程案となります。

委員の皆様、日程の調整をお願いいたします。

また、特に会場につきましては、現在の予定でございますので、また変更がある際は、毎月のお知らせのところで伝えさせていただきたいと思っております。

以上です。

○石川教育長 よろしく願いいたします。

続いて、2点目ですけれども、和光市教育委員と教職員等との懇談会（案）について、学校教育課より報告をお願いいたします。

○辻次長 それでは、資料の6を御覧ください。

前回もこちらの概要についてはお話ししたところですが、各学校から出席予定者のほうが確認できましたので、こちらに予定者、それから2枚目のほうにグループ協議を行うときのグループ等をお示したところでは、

当日の流れが1枚目の上の3の内容というところで、何も変わっていないんですが、大きくは、こちらでテーマを説明した後に、その内容についてグループ協議を行っていただいて、その後、全体での共有というようなところで現在は考えています。私のほうで、進行と最初の提案部分はさせていただこうかなというふうに考えております。

何かお気づきの点とかありましたら、お申し出いただけたらと思います。

以上です。

○石川教育長 このテーマの「和光市の学校教育のこれからについて」だと大きなくくりなので、多分何を話すのということになりかねないかと思うんですが、そのあたりの説明を当日していただけるということですか。

○辻次長 はい。当日ぱっと見ただけでは、なかなかわかりにくいかなと思いますので、事前にはお示ししようと思っています。

○山田委員 全体が同じテーマで話し合うということですね。

○辻次長 はい。

○石川教育長 これについて何かお気づきの点があれば、学校教育課のほうまでお寄せいただければと思いますので、よろしく願いいたします。

それでは、事務局の部長、それから各課からの報告になります。

では、寄口部長、お願いします。

○寄口部長 3月の定例会は、2月から始まりますので、このタイミングで御連絡します。令和6年和光市議会3月定例会についてお知らせです。

3月定例会は2月15日に告示され、2月22日から3月21日まで開催されます。毎年この3月議会では、4月からの新年度予算の上程がなされ、審査が行われます。一般質問については、内容と答弁の概要については、次回以降、3月になるとは思います。教育

委員会で御報告いたします。

私からは以上です。

○石川教育長 ありがとうございます。

続いて、教育総務課、お願いします。

○福田次長 教育総務課からは2つ報告いたします。

1つ目は、小学校児童の登下校時の交通安全の見守りを担っている交通指導員の方たちに対して、1月23日火曜日に、朝霞警察署交通課署員による視察、実地で直接の交通安全指導を実施いたしました。

2つ目は、中学校施設整備のうち、第三中学校放送設備更新工事の進捗につきまして、放送機械が先月やっと納品されましたので、その設置、調整が整いました。施工が終了しました。1月29日月曜日に、企画部財政課検査員による最終の完了検査を受検し、合格後、工事完了となります。

教育総務課からは以上です。

○石川教育長 ありがとうございます。

では、学校教育課、お願いします。

○辻次長 学校教育課からは、1点、大まかな話ですけれども、今週、先ほどありましたインフルエンザによる学級閉鎖がものすごく増えてきました。傾向としては、一気に増えてきたこともあるんですが、一度学級閉鎖を行ったところがまた再度、学級閉鎖になるということもあります。

具体的には、なった子以外の子が集団でまた感染して、人数が多くなることからそういう傾向が起きているということなので、各学校のほうで引き続き感染対策を行っているところだということをご報告させていただきます。

○石川教育長 では、生涯学習課、お願いします。

○亀井次長 生涯学習課からは2点ございます。

先日7日に開催しました成人式二十歳を祝う会への御出席、誠にありがとうございました。当日は天候にも恵まれまして、537人の二十歳の皆さんが参加してくれました。

また、今年度は、実行委員による小・中学校の思い出の写真をスライドにして上映したり、保護者席、また復活させましたので、大変賑やかな成人式になったのかなとは思っております。誠にありがとうございました。

もう1点は、本日お配りしていますチラシ、こちらは、2月5日の午後2時から、市

民文化センター、人権講演会を開催いたします。今回の講演会は、「人生のどん底を味わったからこそ気付いた本当に大切なモノ」と題しまして、講師の方はお笑い芸人で、日本ダイエット健康協会認定ダイエットインストラクター、講演家、セミナー講師、ボクシングトレーナーとして、いろいろなところで活躍されているヤセ騎士さん、こちらの講演となっています。

ヤセさんに1回会ってお話したんですけれども、やはり芸人さんだけあって面白いですね、話が。話ほうまいです。ということで、いっぱい人が来るかなと思っていたんですけれども、まだ席はございますので、皆様、御近所の方、お誘いあわせの上、御来場いただけると大変ありがたいと思っています。

生涯学習課からは以上となります。

○石川教育長 ありがとうございます。

では、スポーツ青少年課、お願いします。

○森谷課長 スポーツ青少年課からは、2月に予定しているスポーツ事業について御紹介します。

スポーツ推進員が企画をしている事業で、2月4日日曜日に自衛隊体育学校の近代五種のコーチですとか監督、また選手の方をお招きして講演会を予定しております。総合体育館で実施を予定しております。

また、2月23日金曜日、祝日と24日土曜日については、和光市・十日町市交流サッカー大会ということで、夏季は十日町市に和光市の少年サッカーチームがお邪魔させていただいているんですが、冬季は十日町からサッカーチームを2チームお招きして、大会を予定しております。

以上です。

○石川教育長 ありがとうございます。

それぞれの事務局からの報告で、何か御質問等ございますか。

(発言する者なし)

○石川教育長 それでは、次回の定例教育委員会の日程について教育総務課からお願いします。

○福田次長 次回の定例教育委員会の日程につきましては、令和6年第2回定例教育委員会は、2月29日木曜日、午後1時30分から602会議室で行います。

なお、15時15分から602会議室にて教職員との懇談会を引き続き行いますので、御調

整よろしく願いいたします。

○石川教育長 ありがとうございます。

それでは、これもちまして第1回定例教育委員会を閉会いたします。

ありがとうございました。

閉会 午後 2時33分

## 第 1 回定例会会議録署名者

教 育 長

会議録署名委員